

令和5年度受賞団体の取組概要

株式会社スギ薬局

- ・ 自社の販売ルール（期限管理）から外れたお米をフードバンク活動としてフードバンク団体へ提供。引渡し日と引渡し店舗を固定化し、計画的かつ効率的な提供を実施。
- ・ 自社分析ツールの使用等による食品廃棄物削減の取組みを実施。



<販売ルールから外れたお米を寄付>

J A あおば女性部 大沢野支部

- ・ 通常は食品廃棄物として廃棄される米ぬか、もみ殻を活用し、ぼかし肥料作りを実施。
- ・ 約20年前から継続して活動。ぼかし肥料作りは参加者の交流の機会にもなっている。
- ・ 完成した有機肥料を活用し、安心な野菜作りを行っている。



<ぼかし肥料づくり>

株式会社ボン・リブラン

- ・ 食品ロスとして廃棄していた商品をフードバンク活動として子ども食堂へ提供。
- ・ 自社の配送システムの活用や営業時間内の各店舗での受取りにより、残存賞味期限の短い商品を県内全域の子ども食堂へ提供することを可能にしている。



<廃棄していた商品を子ども食堂へ提供>

株式会社喜八食品

- ・ 廃棄されていたかぶら寿司の発酵漬け液を活用した調味料および清涼飲料を製造。
- ・ 食品廃棄物の削減を図るだけでなく、健康機能成分も有効に利用。
- ・ 原料に県内特産物を使用することで、地域の活性化にも寄与。



<かぶら寿司の発酵漬け液を活用した商品>

村上 綾子

- ・ 廃棄予定の規格外野菜等の有効活用（提供者と受取団体との仲介）、常設フードドライブの仕組みの構築、サルベージパーティの開催、防災講座や子ども食堂での食品ロス等の削減に向けた啓発等、地域で継続して実践できる食品ロス削減の取組みの普及に取り組む。



<規格外野菜等の有効活用>